10/28・高木基金 PFAS シンポへの対応　　資料

「基準がないことによる困難さ&問題点」

2026・10/28 藤代政夫

Ⅰ、2023 年夏「NHK クローズアップ現代」で金山落 330ｎｇ/ℓを問題視
：行政（千葉県・柏市・鎌ヶ谷市・白井市）へ水質調査や原因究明を要望しても
“ＰＦＡＳの規制基準もなく（暫定目標値はあったが）行政に調べる義務もなく、動きなし”

Ⅱ、２０２３年 12 月、市民と議員で、これまで行政も千葉県環境研究センターの調査（2007 年）でも調べていない金山落に入ってくる下総基地のほうからくる水路の水質調査を実施・・・**410ｎｇ/ℓ（ＰＦＯＳ＋ＰＦＯＡ）検出。**
柏市・鎌ヶ谷市・白井市の首長に対し水質調査・原因究明の要望書提出

Ⅲ、2024 年３月に県・３市での水質調査（水路・井戸水）始まる。
１年間で柏・鎌ヶ谷市で井戸水 576 本調査＝173 本が 50ｎｇ/ℓ超過、内 130 本が飲用に使用
白井市 71 本の井戸水調査＝超過井戸０
＊環境省等の暫定値はＰＦＯＳ＋ＰＦＯＡなので、井戸水・水路の調査でもＰＦＯＳ・ＰＦＯＡのみの調査でＰＦＨＸＳの検査なし。
ｃｆ、井戸水柏市域では最高２０００ｎｇ/ℓ
井戸水鎌ヶ谷市域では最高 12000～35000～42000ｎｇ/ℓ
飲用は 10000 以下の井戸

Ⅳ、血液検査について
「血液検査の基準も方法も国から出されていない」
「住民に不安を与えるだけといった国の方針」
∴
柏市はいまだに血液検査を公費負担で実施しようとしない。2026 年議会で請願が採択されても**実施しようとせず、**国に基準を出すよう要望すると。
鎌ヶ谷市は、あまりにも高い値が検出されていることもあり住民の不安に寄り添う観点から血液検査公費負担（30000/年×2 回）を 2024 年 8/15 市広報に発表。（多摩昭島の医療機関～流山の東葛病院で）
〇鎌ヶ谷市血液検査結果：
2025 年５月発表：69 人の希望者の内 10 人検査実施
１０人中９人が 20ｎｇ/ｍℓ超過です。
米国アカデミーの方法で７種類の PFAS 検査。
血中より PFHXS が PFOS と同じ程度に、又多く検出される。
市民からは PFHXS を井戸水・水路水でも調べるよう要請

やっとですが鎌ヶ谷市は 2025 年 7 月に血液検査した人が使っていた井戸 4 本を再調査。PFOS・PFOA・PFHXS の 3 種類を調べる。血中と同じように PFHXS が多く検出される。

＊これ以外の井戸水調査・水路調査では PFHXS をふくめた調査をしてません。PFOS・PFOA だけでなく PFHXS・PFNA を調べるべきです。

Ⅴ、下総基地からは「2010 年以前の記録がないので PFOS 含有の泡消火剤の使用状況はわからない」と回答。

又、2024 年 3 月から（県や３市は調査を始めたが）一緒に下総基地内の水質調査をしようとしない。

＊残留性があり環境に残ってしまうのに PFOS 含有泡消火剤使用基準・規制がないのでその資料が残っていない。今調べてくれと要請しても PFOS•PFOA に基準もないので表流水も地下水も調べようともしない。

Ⅵ、2025 年３月、これまで 1 年間調査してきた県と３市の要請でやっと下総基地内の表流水調査がされました。

排水口①（南東部）：４５００ｎｇ/ℓ、　　排水口②：100ｎｇ/ℓ、

排水口⑤（北東部）：1700ｎｇ/ℓ、

県と３市はこの時同時に基地外水路の水質調査：同じような値を検出

∴

県と３市は「**金山落のＰＦＯＳ・ＰＦＯＡの高濃度の原因の一つが下総基地からの排水」と断定。**

＊下総基地は「因果関係は確固たることは語れない」と言って認めない。

市民も行政も議員も**排水口①のそばの消火訓練場周辺の土壌調査を要求しているが下総基地は「土壌調査の方法が定まっていない、基準がない」といって調査をしようとしない。**

Ⅶ、イオン交換樹脂装置による除去作業

2025 年 4/11 の県と 3 市からの依頼に対し、下総基地が 2025 年 9/22 から 4600 万円の予算で事業開始（６月までに 8200 万円）。

排水口①②⑤での除去装置に効果あれど、

排水口①の基地外の水路の値は高いまま。

“排水口①周辺の土壌と基地外水路周辺土壌の状況が似ているのだから、土壌調査を”と要求しても「知見が集まっていない・・・」「基準が・・・」と言って下総基地は調査しようとしない。

Ⅷ、基地内地下水と周辺井戸水との関連を調べようとしない。

井戸水の基準、水路の水質基準、土壌の基準そして因果関係を明らかにする方法を示してあればすぐに原因究明ができるはずだが。

基準がないからか調査しようとしない。？？？

＊鎌ヶ谷市は独自に流動調査の為 1000 万円かけてボーリング調査を予定。

基地周辺と基地内との
PFAS 汚染の因果関係を明らかに！

下総基地内の表流水は非常に高いPFAS 汚染（50000ｎｇ/ℓ～）があります。基地の外の水路に流出しないようにと、下総基地は昨年の9/22 以降排水口①・排水口②・排水口⑤で“イオン交換樹脂装置”による“ろ過処理”を行っています。

除濁装置

処理装置（イオン交換樹脂）

第３回目の報告が 2026 年８月 28 日千葉県から発表されました。

又、鎌ヶ谷市の実施した（2026 年２月軽井沢地区井戸５本で）井戸緒元調査の報告も 8/28 に鎌ヶ谷市より発表されました。

イオン交換樹脂ろ過装置処理結果

単位：ng/L　※ 指針値５０ng/L 以下

調査日	PFOS 等の合計値							
	排水口１			排水口２		排水口５		
	処理前	処理後	排水管入口	処理前	処理後	処理前	処理後	敷地境界付近
４月２２日	50,000	<4	8	16	<4	1,300	<4	1,700
５月２７日	48,000	15	<4	590	<4	1,000	<4	1,200
６月２４日	25,000	6	<4	460	<4	850	<4	1,700

※ 「<4」は、定量下限値（4ng/L）未満

基地外の水路の水質を同時に調べた 6/24 の数字から見てみましょう。

≪基地北東部（藤ヶ谷地区）≫

排水口⑤：処理前 850～処理して４未満～数十m基地の敷地通って敷地境界 1700
～基地外水路Ｂ：1700～1100ｎｇ/ℓ

≪基地南東部（軽井沢地区）≫

排水口①：処理前 25000～処理して 6～1-2m先の排水管入口４未満
～基地外水路Ａ：21000（県調査）～13000～2700ｎｇ/ℓ

排水口②：処理前 460～処理して４未満
＊排水口②はなぜ急に 100 から 460ｎｇ/ℓまでに上がったのか？

≪調査結果から考えられる事と課題≫

今回もイオン交換樹脂除去装置でＰＦＡＳ汚染は落とせることが分かりましたが、基地外の水路ではＰＦＡＳの高い値が検出されています。

排水口⑤の藤ヶ谷地区では、処理した４未満の水が数十m下総基地の敷地を通過した後敷地境界で 1700ｎｇ/ℓまでに上がってしまっています。敷地外水路Ｂへはそのまま 1700ｎｇ/ℓで流出していますから、下総基地の土壌のＰＦＡＳを除去すれば水路Ｂのほうは値を下げられるのでは・・・

しかし排水口①の軽井沢地区では、25000 を処理して６が 1～2m先の基地内から外へ行

く排水管の入り口では４未満でした。ところが基地から出たところの水路Ａでは基地に近いところで21000（県調査）、数十m出たところで13000ｎｇ/ℓと処理効果がでていません。

排水口①周辺の土壌とフエンス一つ隔てた基地外の土壌は同じような湿地帯です。因果関係を明らかにするには排水口①周辺の土壌と水路Ａ周辺の土壌の調査が必要です。排水口①近くの消火訓練場周辺の土壌の調査も必要でしょう。「土壌調査の知見がない」と言わずに同じ条件で土壌調査をすればある程度相関関係を明らかにできるのではと思われます。

又、軽井沢の井戸水の42000ｎｇ/ℓと基地内地下水との関係も調べるべきです。

鎌ヶ谷市は２回目の周辺井戸水の諸元調査報告を発表（8/28）

地下水の流れる帯水層を推定し、５層を推定。地上の上の方から第一帯水層、第二帯水層で50ｎｇ/ℓを超過している。第一帯水層のほうがＰＦＯＳ及びＰＦＯＡの濃度が高い傾向。

第二帯水層では基地の方向である北西から南東の方向に流れていることが推定される。

今後さらに詳しく調べるためボーリング調査、観測井戸の設置が課題だとのことです。

鎌ヶ谷市は原因究明のため補正予算1786万円（地方創生臨時交付金1397万円）を計上、

① 軽井沢地区の前回50ｎｇ/ℓ以下の井戸157本の水質の再調査をする（希望者に）。予算740万円です。

② 地下水諸元調査としてボーリング調査をする。千葉県からの助言を受け本来数本のボーリング調査が必要だがまずは１本の調査を実施（９月補正予算１０４６万円）。

③ 基地内湧水（地下水）調査を県と柏・鎌ヶ谷・白井３市で下総基地に要請していく。

とのことです。

血液検査について

鎌ヶ谷市では公費負担（３００００円×2）で血液検査を実施していますが、これまで69名の希望者のうち10人が検査実施。（10人中９人が米国アカデミーが健康リスクが上がると指摘する20ｎｇ/ｍｌを超過する値でした。）それ以降実施する人はいないのでこの公費負担事業を住民に周知していくとのこと。又、今後井戸水の再検査の結果50ｎｇ/ℓ超過の井戸が出たらこれまでと同様公費負担の事業対象となるとのことです。

＊市民と東葛病院との話し合いで「東葛病院では出張血液検査もできる」とのことが分かりました。市は医療機関と協議し住民の便利になるように検査方法も検討してほしいです。検査後の健康フオローも確立してほしいです。

又、血液検査では７種類のＰＦＡＳを検査します。その中のＰＦＨＸＳ（2024年使用等が禁止されてます）がＰＦＯＳと同じ程度に検出されています。市の井戸水検査でもＰＦＯＳ・ＰＦＯＡだけでなくＰＦＨＸＳも調べるべきです。

鎌ヶ谷市の上水道敷設事業

鎌ヶ谷市は軽井沢地区の県営水道上水道敷設に当たり公道部分の個人負担分を公費で負担すべく予算を立てています（今年は2640万円×３年に渡り）。

千葉県の上水道敷設に関する軽減対象は居住者で事業者は対象外とのこと。上水道敷設対象は142件あるが事業者等を除くと93件とのこと。３期で実施。第一期2026年度に工事開始、第二期の申請を今年中に、第三期の分は2027年度に申請とのことです。

＊「民主主義と自治そして平和主義」藤代政夫　047-445-9144

別紙３

７回目水質調査（ＰＦＨｘＳを項目に加えた調査）

No.	今回調査					参考：前回調査			
	PFOS+PFOA（ng/L）	PFOS（ng/L）	PFOA（ng/L）	PFHxS（ng/L）	採水日	PFOS+PFOA（ng/L）	PFOS（ng/L）	PFOA（ng/L）	採水日
1	280	250	34	490	令和7年7月3日	300	260	35	令和6年11月26日
2	570	560	13	210	令和7年7月4日	470	460	13	令和6年8月19日
3	98	76	22	25	令和7年7月3日	98	73	25	令和6年10月10日
4	170	170	5未満	35	令和7年7月3日	240	240	5未満	令和6年10月10日